

平成 17 年度ホタテガイ採苗情報 (第 8 報)

平成 17 年 7 月 21 日

発行：岩手県水産技術センター
協力機関：沿岸地方振興局水産部

「唐丹湾では、採苗器 1 袋当たり 4,000 個の付着」

1 稚貝の付着状況 (7/20、唐丹湾)

水深 10m 層に、4 月 25 日から 3 か月間、5 月 11 日から 2.5 か月間、5 月 26 日から 2 か月間、6 月 9 日から 1.5 か月間、6 月 23 日から 1 か月間にわたり垂下した採苗器の付着状況を調べました。

付着数は、それぞれ 3,509 個/袋、2,557 個/袋、3,989 個/袋、1,964 個/袋、653 個/袋でした。

4 月 25 日、5 月 11 日および 5 月 26 日に投入した採苗器では、採苗数の非常に多かった昨年 (付着数：18,178 個/袋) や一昨年 (付着数：15,731 個/袋) には及ばないものの、例年を上回る付着数でした。

付着稚貝は、殻長 6mm 未満のものが主体でした。しかし、4 月 25 日、5 月 11 日および 5 月 26 日に投入した採苗器には、殻長 6mm 以上の大型個体が必要数以上付着しています。

なお、害敵生物は、各採苗器でコツブムシが 1 ~ 2 個/袋確認されました。また、4 月 25 日、5 月 11 日に投入した採苗器には、ムラサキガイとキヌマトイガイが非常に多く付着していました。

2 付着盛期と採苗器の投入適期

これまでの調査結果から、今年の釜石地区の付着のピークは 6 月中旬で、採苗器の投入適期は 5 月下旬であったと考えられます。

唐丹湾のように付着数の多い地区では、採苗器内が過密状態になり、それによって成長が停滞したり、稚貝が弱る可能性があります。

付着稚貝の数とサイズを十分に把握した上で、早めに分散するようにしましょう。

また、稚貝の採取にあたっては、投入した採苗器全てから、できるだけ大きい個体を選ぶようにしましょう。

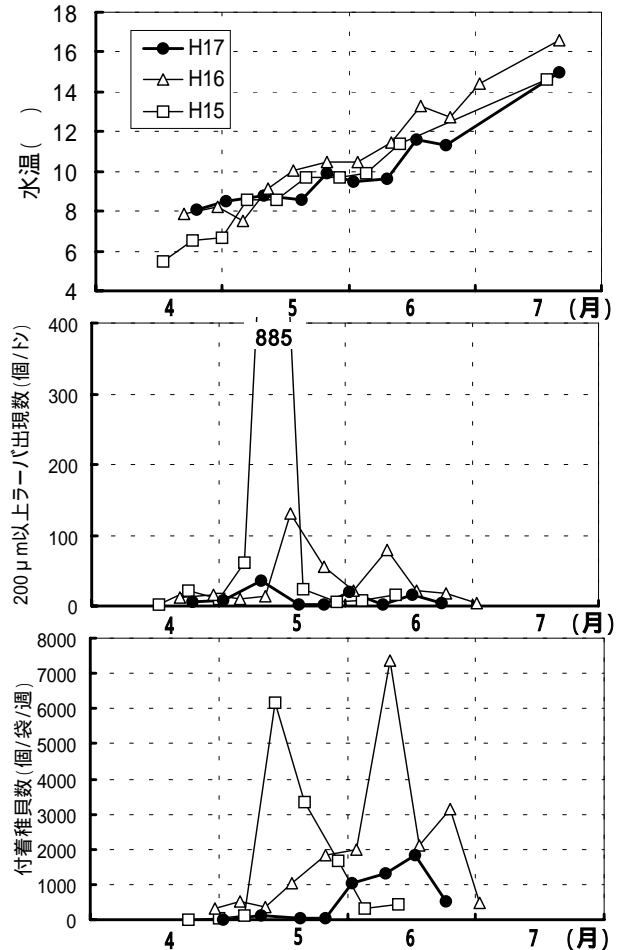


図 唐丹湾における水深 10m 層水温とホタテガイラーバ・付着稚貝の出現状況

表 唐丹湾におけるホタテガイ稚貝の付着状況 (平成17年7月20日)

投入月日	付着稚貝 (個/袋)						計
	1~2mm	~4mm	~6mm	~8mm	~10mm	10mm~	
4月25日	214	1,145	1,534	320	158	138	3,509
5月11日	183	919	1,108	288	56	3	2,557
5月26日	268	1,379	1,778	564	0	0	3,989
6月9日	161	1,135	668	0	0	0	1,964
6月23日	145	507	0	1	0	0	653

注 殻長 1mm 以上の個体について測定

なお、今期の採苗状況調査は、今回で終了となります。ご協力ありがとうございました。